関西経済研究

担当者 石川　雄一

開講時期 前期　　単　位 2

●講義の概要

近代においては、政治の東京に対して経済の大阪といわれたように、関西経済は大きな地位を占めていた。またその中心都市である大阪は「東洋のマンチェスター」とも称されており日本の産業革命発祥の地とも謳われていた。

現在、東京一極集中が進展するなか関西経済も大きく変貌した。関西経済をマクロスケールの視点とミクロスケールの視点にわけて、関西経済の特色や変遷、今後の課題を講義する。

●講義の到達目標

① 関西経済の地理的特色を理解する
② 関西経済の歴史・文化的背景を理解する
③ 関西経済の現状を理解する
④ 今後の関西経済について予見する知識を蓄積する

●講義計画

第１回：はじめに
第２回：日本の地方区分と関西
第３回：地形図からみた大阪周辺の変化
第４回：日本の産業構造の変化と関西　東京一極集中と関西
第５回：日本の産業構造の変化と関西　製造業、小売業の立地変化
第６回：課題発表
第７回：交通網の発達
第８回：関西における製造業の立地
第９回：関西における小売業の立地
第10回：関西における観光産業の動向
第11回：課題発表
第12回：関西経済トピック１　都市構造
第13回：関西経済トピック２　産業
第14回：関西経済トピック３　観光
第15回：まとめ

●成績評価基準と方法

授業への参加度とレポートの内容により総合的に評価します。
評価の割合は、
授業への参加度：30％
（とくに最終回では、講義の到達目標の④について質問し、評価します。）
レポートの内容：70％
（3回予定のレポート提出では、講義の到達目標の①から③の達成度を評価します。）

●テキスト又は参考文献

〔テキスト〕使用しない。資料を配布する。
〔参考文献〕
・一般財団法人　アジア太平洋研究所編
『アジア太平洋と関西　関西経済白書 2019』2019年（2,500円）
・山口覚他著『図説　京阪神の地理』ミネルヴァ書房、2019年（2,500円）

●受講上の留意点